令和６年度福島県農林水産業振興計画指標の目標値変更一覧表（案）

指標名	定義	見直しの理由	指標値											変更後の目標値の設定根拠
				R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	（単位）	
スマート農業技術等導入経営体数	水稲（大規模経営体）・園芸・畜産おけるスマート農業等技術の導入経営体数	スマート農業技術等導入経営体数については、令和５年度に990と、令和12年度の目標値950を達成したところ。 担い手の減少が進行する中で、より効率的な営農の展開が求められており、スマート農業のさらなる推進が必要であることから、目標値の上方修正を行う。	目標値変更前	670	718	756	810	843	872	902	930	950	経営体	下記の３指標の合算として設定した。 （現況値の概ね2倍を目指すものとする）
			目標値変更後			1093	1195	1296	1397	1498	1599	1700		
			実績	781	990									
スマート農業技術等を導入した大規模稲作経営体数	スマート農業等を導入した大規模稲作経営体（20ha以上）の数	スマート農業技術等を導入した大規模稲作経営体数については、令和５年度に194と当該年度の目標は達成している。 令和12年度の目標値240を達成していないものの、関連指標は達成していることや、スマート農業関連の事業を展開していることを踏まえ、上方修正すべきであると考えるため。	目標値変更前	150	173	197	220	224	228	232	236	240	経営体	最終年度（令和12年度）に、大規模稲作経営体の90％に導入するものとして設定し、年々増加する想定で目標値を設定した。 （考え方に変更なし）
			目標値変更後			210	225	240	255	270	285	300		
			実績	165	194									
スマート農業技術等を導入した園芸経営体数	スマート農業等を導入した園芸経営体数	スマート農業技術等を導入した園芸経営体数については、令和５年度に619と令和12年度の目標値570を達成している。 担い手の減少が進行する中で、より効率的な営農の展開が求められており、スマート農業のさらなる推進が必要であることから、目標値の上方修正を行う。	目標値変更前	407	430	450	470	495	515	537	556	570	経営体	最終年度（令和12年度）に、主な産地の園芸経営体の15％に導入するものとして設定し、年々増加する想定で目標値を設定した。 15％は、従事者のうち60歳未満が占める割合13.1％＋αであり、比較的若い層への浸透を図ることを目指すものである。
			目標値変更後			697	775	852	929	1006	1083	1160		
			実績	470	619									
スマート農業技術等を導入した畜産経営体数	スマート農業等を導入した畜産経営体数	スマート農業技術等を導入した畜産経営体数については、令和５年度に177と令和12年度の目標値140を達成している。 担い手の減少が進行する中で、より効率的な営農の展開が求められており、スマート農業のさらなる推進が必要であることから、目標値の上方修正を行う。	目標値変更前	113	115	118	120	124	129	133	138	140	経営体	最終年度（令和12年度）に、飼養頭数が平均規模以上である経営体の８割に導入するものとして設定し、年々増加する想定で目標値を設定した。
			目標値変更後			186	195	204	213	222	231	240		
			実績	146	177									
県産農産物の輸出額	県内の農業団体等が輸出向けに出荷した県産農産物（米、果物、牛肉、野菜、花き等）の金額	市場性を踏まえて輸出国、地域を選定し、戦略的に輸出に取り組んだ結果、県産農産物の輸出額の実績が令和４年度に336百万円と、令和12年度の目標値を上回り、今後も同程度の推移が見込まれるため上方修正を行う。	目標値変更前	138	150	171	193	214	236	257	279	300	百万円	令和４年度の日本国内における農林水産物輸出額の伸び率は前年度比2.8％となっており、今後も同程度の推移が続くものと予想されている。 計画終期の目標値の見直しに当たっては、上記の９割程度である年2.5％の成長を見込み、令和４年度実績値の336百万円からの８年間で約1.2倍となる400百万円と設定した。 なお、各年度の目標値については、実績値が前年度から下振れすることも想定されるため、直近５年間（Ｈ30～Ｒ4）の平均値（224百万円）を基準値として、令和4年度から最終年度に向けて、毎年同程度増加する想定で設定した。
			目標値変更後			266	288	310	332	354	376	400		
			実績	336										
ほ場整備地区における農地集積面積（南会津）	担い手へ集積された農用地面積	令和4年度及び令和5年度に、ほ場整備事業4地区が新規採択され、事業内で農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した担い手への農地集積を図ったことに伴い、令和5年度実績が令和12年度目標を達成した。 農地中間管理機構関連農地整備事業の実施要件が農地中間管理機構との賃貸借契約と農地集積及び農業収益性の向上となっていることから、本事業活用を前提に地域内で将来の営農計画に関する話し合いが行われた結果、区画整理工事着手前に、地権者及び営農者との賃貸借契約が進捗し、担い手への農地集積が進んだことを踏まえ、目標値の上方修正を行う。	目標値変更前	27.8	57.8	74.2	91.2	108.2	120.0	135.5	151.1	166.6	ha	現在(令和6年度)実施中のほ場整備４地区の今後の集積見込みに加え、新規採択予定１地区の集積想定スケジュールから、目標値を設定した。
			目標値変更後			218	222	226	233	241	248	254		
			実績	20.9	215									